

**題目：超高感度溶液NMR法によるライフイノベーション・グリーンイノベーション  
研究**

**Life- and green-innovation studies by cryogenic solution NMR**

発表者：片平 正人（京都大学エネルギー理工学研究所・教授）

関連ミッション：ミッション2（太陽エネルギー変換・利用）

ミッション4（循環型資源・材料開発）

**要旨：**

演者はこれまで超高感度検出器(クライオプローブ)を装着したNMR装置を用いて、タンパク質、機能性核酸等を対象としたライフイノベーション分野の研究に取り組んできた。また同装置を用いた溶液NMR法は、木質バイオマス等を対象としたグリーンイノベーション分野の研究でも有用である事をここ最近示してきた。

本セミナーではまず初めに、抗HIV活性を有するヒトのタンパク質が、標的DNA上をスライディングしながら塩基改変を行う機序を、リアルタイムNMR法によって解明した結果について紹介する。続いて、溶液NMR法によって木質バイオマスに関してどのような情報が取得できるのかについて、具体的な解析例を示しつつ説明する。